

# 令和5年度学校評価「かけはし」結果報告

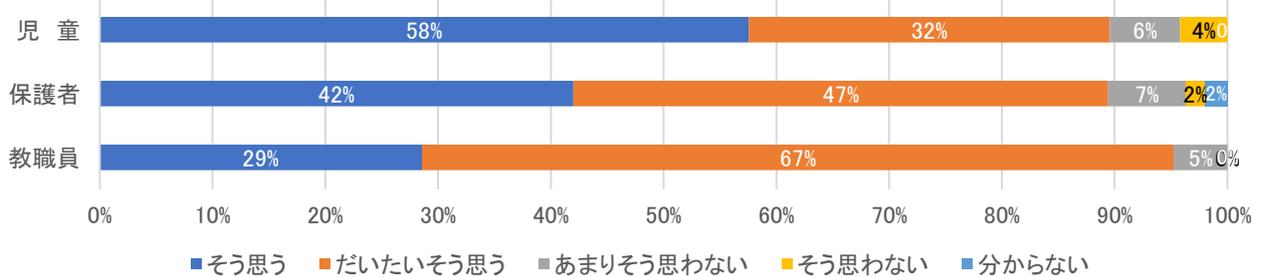
R6. 2. 22 荒尾第一小学校

ご多用な中、学校評価「かけはし」に係るアンケートにご協力くださり、ありがとうございました。皆様の回答をとりまとめましたので、ご覧いただきますようお願いいたします。

保護者の皆様からいただいた貴重なご意見をもとに、本校の教育活動を更によりよいものにするよう、これからも努めて参りますので、今後ご理解・ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

## 1 学校の楽しさ

児童	学校は、楽しいですか。
保護者	お子さんは、学校を楽しんでいると思いますか。
教職員	子供たちは、学校を楽しんでいると思いますか。

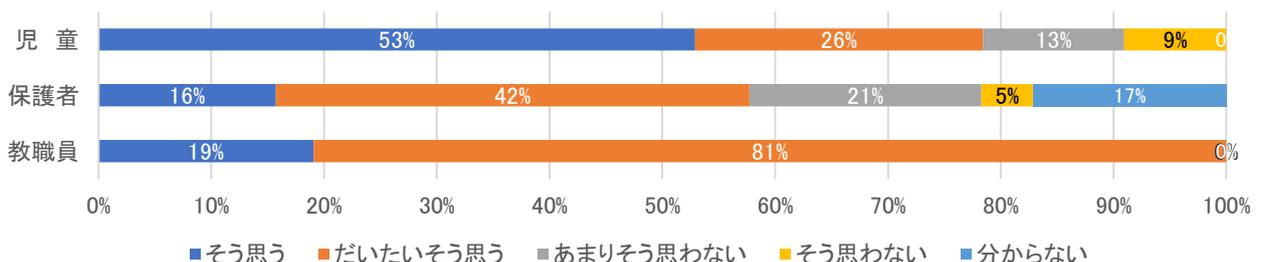


○学校に行く楽しさについて、児童、保護者ともに約9割が肯定的な回答をしておりました。その理由として最も多かったのが、友達に会える、友達と遊べる、友達と一緒に勉強できる等、友達に関することでした。一方、「楽しくない」と回答した児童も1割おり、その理由として多かったのが、友達とのけんか等、こちらも友達に関することでした。

○人間関係が希薄になっている現代社会において、人間関係を築き、心を育む場としての学校の役割がますます求められていると思います。本校においては、授業や行事において、子どもたちの人間関係がよりよくなるよう様々な取組を行っています。また、子どもたちが、それらの取組の成果を自己評価し、よりより学級づくり(人間関係構築)に向けて自ら主体的に行動できる取組(学級力向上プロジェクト)も実施しているところです。児童にとって学校が楽しく居心地のよい場となるよう、更に様々な取組を工夫して参ります。

## 2 将来の夢や目標

児童	将来の夢や目標をもっていますか。
保護者	学校は、お子さんが将来の夢や目標をもてるような取組をしていると思いますか。
教職員	あなたは、子供たちが将来の夢や目標をもてるような取組をしていますか。

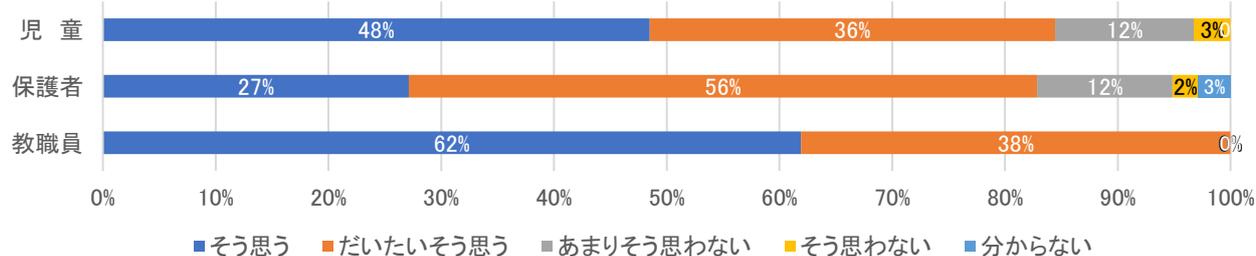


○79%の児童、保護者が58%が肯定的な回答をしており、昨年度の同項目と比べ、児童は2ポイント増加、保護者は逆に8ポイント減少しました。

○本校では、キャリア教育として、全ての教科等で学ぶことや働くことの意義を理解させるとともに、自分にあった目標を立て、主体的に行動しようとする教育活動を目指して授業等を行っています。全ての子どもたちが夢や目標をもって学校生活をおくれるように、更に取り組を工夫して参ります。

### 3 あいさつ

児童	家や地域であいさつをしていますか。
保護者	子どもたちは、家庭や地域であいさつをしていると思いますか。
教職員	あなたは、家庭や地域で子供たちがあいさつをするように指導していますか。

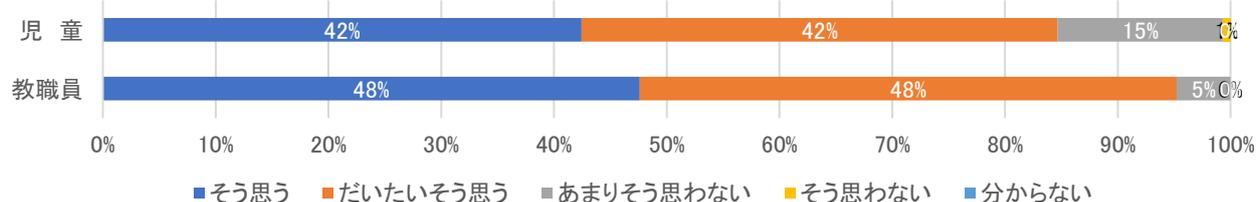


○児童の84%、保護者の83%が肯定的な回答をしており、昨年度の同項目と比べ、児童は4ポイント、保護者は10ポイント向上しました。

○あいさつについては、本校のハートフル委員会と荒尾海陽中学校との合同あいさつ運動、PTA 主体のあいさつ運動、民生児童委員主体のあいさつ運動など、学校だけでなく、保護者や地域の協力もいただきながら取組を進めているところです。しかし、「相変わらずあいさつをしない子が多い」等のご意見も一部の保護者からいただいています。家庭や地域でのあいさつがしっかりできるように、引き続きご家庭でもお声かけをお願いします。

### 4 授業への取組

児童	授業中、自分で考え、自分から学習に取り組んでいますか。
教職員	あなたは、子どもたちが自分で考え、自分から学習に取り組む授業になるよう努めていますか。

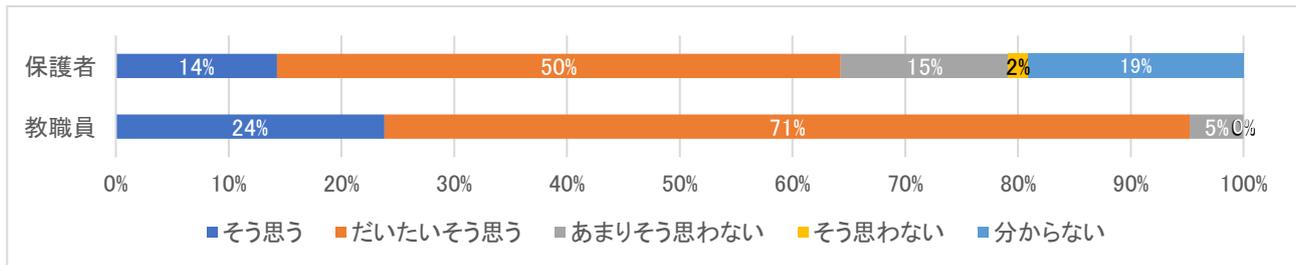


○授業への取組については、84%の児童が肯定的な回答をしていることが分かりました。

○本校では、教師の説明が主となる一斉指導から、「あらおベーシック」として、子どもが自ら課題や問題を見つけ、友達と協働して解決する学習スタイルへの転換を図っており、今、求められる資質・能力の育成に向けた授業改善を進めているところです。しかし、記述による保護者評価では、「計算や漢字など、基礎知識の理解が十分習得できていない」等の声もいただいています。本校では、授業時間だけでは不十分な基礎・基本の定着に向けて、自学コンクールや丸付けボランティアの方の協力を得た学力充実タイムの取組も行ってきましたが、今後、県学力・学習状況調査の結果等、様々な調査結果の分析も踏まえながら、本校の児童にとって更によりよい授業の在り方や取組の工夫を検討して参ります。

## 5 意見の反映

保護者	学校は、子供たちや保護者・地域住民の意見を聞き、その声を学校運営に反映していると思いますか。
教職員	あなたは、子供たちや保護者・地域住民の意見を聞き、その声を学校運営に反映しようとしていますか。

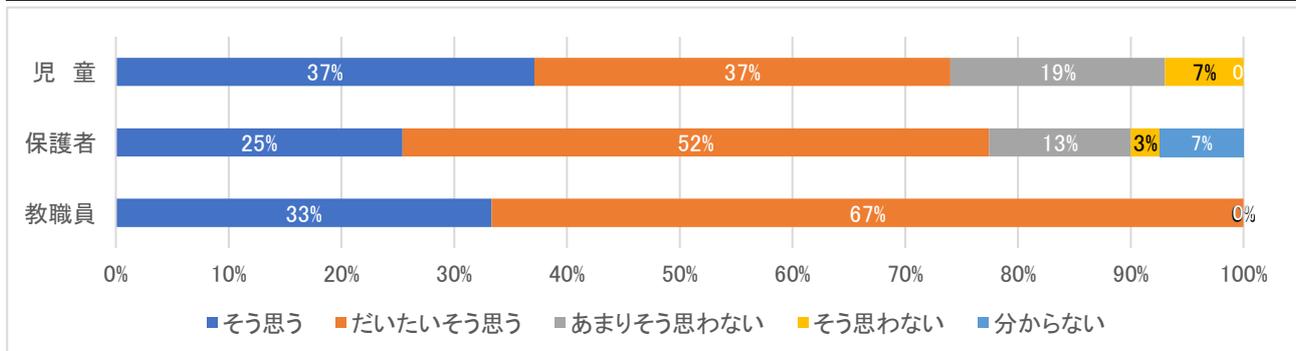


○64%の保護者が肯定的な回答をしていますが、他の項目より肯定的な回答が低く、また昨年度の同項目より肯定的な回答が4ポイント減少しました。

○本校では、コミュニティ・スクールとして、学校運営協議会の場で保護者や地域の方から集めた声や、保護者から担任等を通じて直接いただいたご意見をもとに、学校運営の改善に資するように努めて参りました。しかし、今回の結果から、保護者の皆様のご意見等を十分集約できていない可能性や、改善内容を十分周知できていないことが考えられます。今回の学校評価においても様々なご意見をいただきましたが、ご意見等は全職員で共通理解を図り、各担当職員が企画する行事等の改善に生かして参ります。

## 6 児童の相談のしやすさ

児童	つらいことや困ったことがあったとき、先生に相談しやすいと思いますか。
保護者	お子さんが、悩みや困りごとを抱えたとき、学校はお子さんの話を聞いてくれそうと思いますか。
教職員	あなたは、子どもたちが悩みや困りごとを抱えたとき、話を聞いていると思いますか。



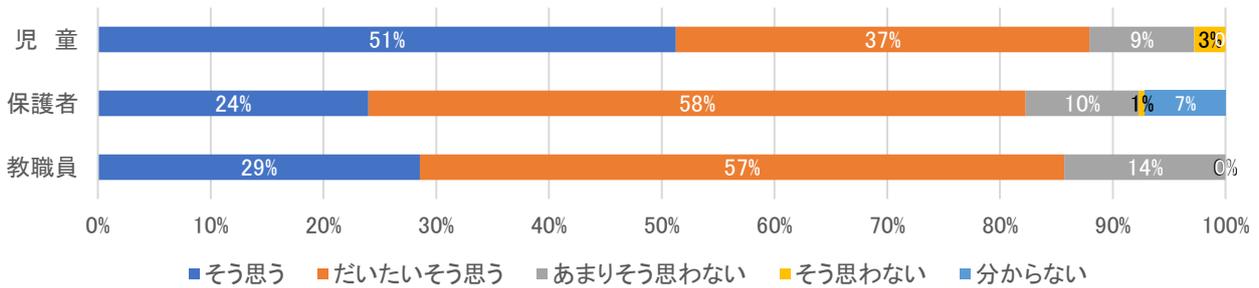
○74%の児童が肯定的な回答をしており、昨年度の同項目より12ポイント増加しました。しかし、まだ以前として先生に相談しにくいと感じている児童が約3割もいる状況です。

○児童に対しては、日常的な相談だけでなく、毎月アンケートを実施し、悩みごとの積極的な把握に努めております。また、心理の専門家であるスクールカウンセラーの周知にも努め、児童自らスクールカウンセラーに相談したいという申し出も本年度は出てきました。児童に対しては、担任だけでなく、学年部の先生、支援員の先生、養護教諭、主幹教諭、教頭、校長、スクールカウンセラーなど、困ったこと等があったら誰にでも相談してよいことを伝えており、今後も安心して学校生活をおくれるような相談体制を更につくって参ります。

しかし、相談体制がいくら整っても、「職員が忙しそうで子どもが相談しにくい」という保護者からの声もありました。本校では、職員が児童とゆっくり向き合うことができるように、校務のICT化、チーム体制など、職員一人一人の心理的・実質的な負担軽減にも努めているところです。職員に余裕が生まれることで、児童に少しでも相談しやすいと思ってもらえるようにしていきたいと思っております。

## 7 体力向上や健康増進への取組

児童	運動を進んでしたり、健康に気をつけたりしていますか。
保護者	学校は、子供たちの体力向上や健康増進に向けた取組をしていると思いますか。
教職員	あなたは、子供たちの体力向上や健康増進に向けた取組をしていますか。



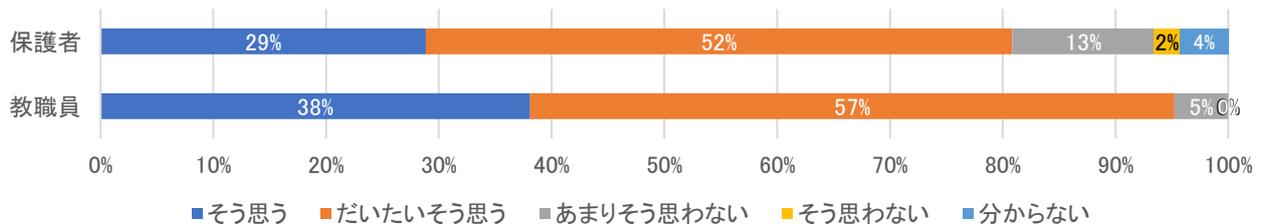
○88%の児童、82%の保護者が肯定的な回答をしており、昨年度の同項目と比べ、児童は4ポイント増加、保護者は逆に3ポイント減少しました。

○5月に新型コロナウイルス感染症が第5類に移行し、教科体育や体育的行事が通常どおり実施され、児童会主催のスポーツ大会なども年4回行うことができました。健康教育では、元気カードや歯磨きカレンダーなど、家庭と連携した取組も実施してきたところです。

しかし、保護者の方からは、「体育館の使用頻度を増やしてほしい」等の声も上がっています。子どもたちの体力向上や健康増進に向けた取組を更に充実して参ります。

## 8 情報提供

保護者	学校は、家庭への連絡や情報提供をしていると思いますか。
教職員	あなたは、家庭への連絡や情報提供をしていますか。

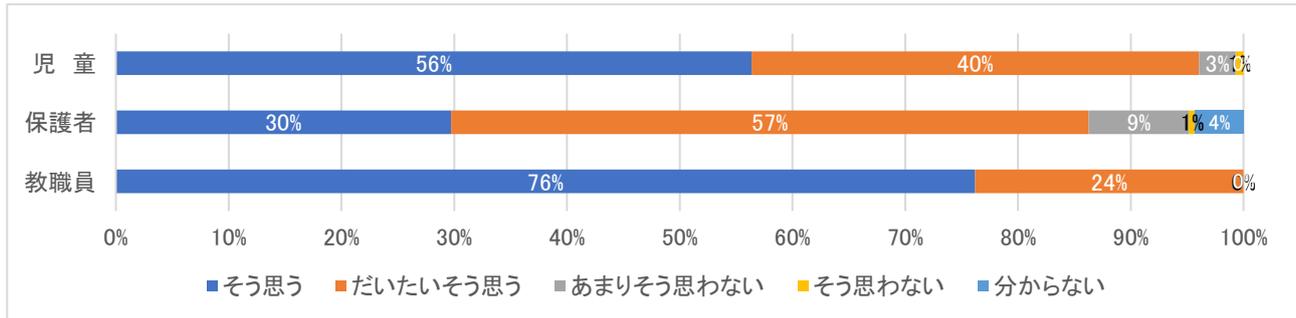


○81%の保護者が肯定的な回答をしており、「そう思う」については、6ポイント増加しました。

○学校からのお知らせについては、学校安全安心メール、学級・学年通信、ホームページなどを活用し、日々の教育活動や行事の変更、感染症の状況などについて積極的な情報発信に努めてきたところです。今後も必要な情報等が、よりタイムリーで正確に保護者や地域の皆様に届くように努めて参ります。

## 9 ルール・きまりの指導

児童	学校や社会のルール・きまりを守っていますか。
保護者	学校は、学校や社会のルール・きまりを守る指導をしていると思いますか。
教職員	あなたは、学校や社会のルール・きまりを守る指導をしていますか。



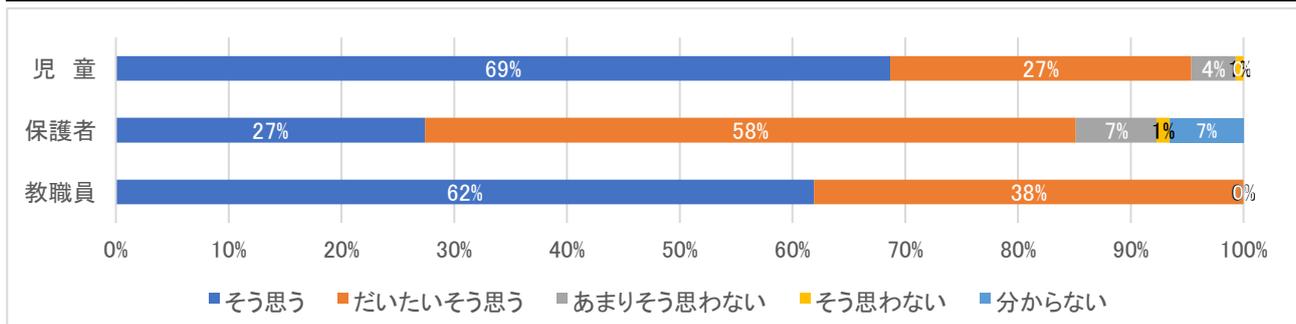
○96%の児童、87%の保護者が肯定的な回答をしており、「そう思う」の選択肢については、児童が4ポイント、保護者が6ポイント増加しました。

○本校では、「荒尾第一小学校 学校生活(家庭生活)のきまり」や「夏(冬・春)休みのくらし」の中で、必要最低限のルール・きまりを示しておりますが、SNSの普及に伴い、児童が各家庭で適切にSNSを利用できるように、SNSの利用の仕方についても新しく加え、児童に指導しているところです。

しかし、保護者の方からは、「学校の校則が令和の時代に合わない」「紙の毛を結ぶゴムの色を決める必要があるのか」等のご意見もいただいています。それらについては、現在、学校運営協議会と児童会が連携し、新しい学校のきまりづくりに向けて検討を行っているところです。ご指摘にあるとおり、今の時代や児童の実態に合った内容に見直すとともに、児童自身の考えを学校のきまりに取り入れることで、児童が主体的にルール・きまりの意味について考え、ルール・決まりを守れるようにしていきたいと考えています。

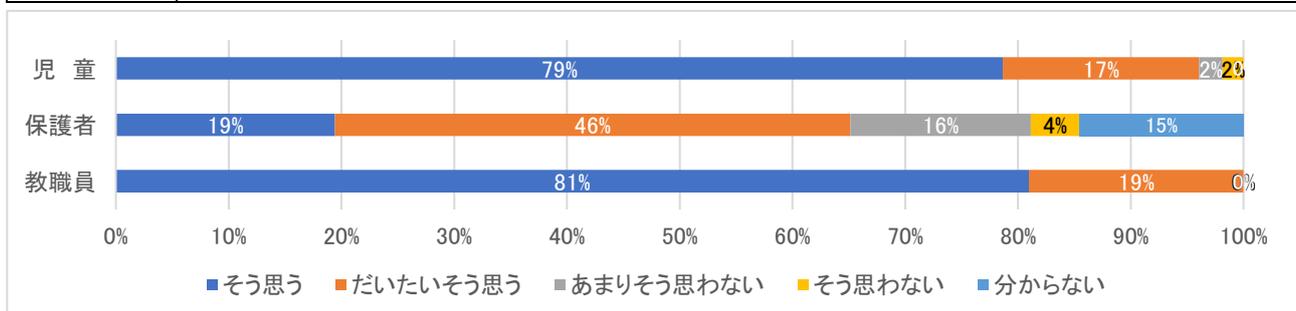
## 10 道徳教育や人権教育の取組

児童	人に優しく、人のためになる(人の役に立つ)人間になりたいと思いますか。
保護者	学校は、道徳教育や人権教育に取り組んでいると思いますか。
教職員	あなたは、道徳教育や人権教育に年間計画に沿って取り組んでいますか。



## 11 いじめ・暴力行為の防止

児童	いじめや暴力は、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
保護者	学校は、いじめや暴力行為は許されないこととして、毅然とした対応をしていると思いますか。
教職員	あなたは、いじめや暴力行為は許されないこととして、毅然とした態度で指導していますか。



○道徳教育や人権教育の取組において、96%の児童、85%の保護者が肯定的な回答をしており、昨年度に比べ、児童、保護者とも3ポイントの増加が見られました。いじめ・暴力行為の防止については、96%の児童、65%の保護者が肯定的な回答をしており、昨年度に比べ、こちらも児童、保護者とも2ポイントの増加となりました。また、教職員については、「そう思う」の回答が81%と他の項目と比較したときに最も高く、いじめ・暴力行為の防止に向けて、より高い意識で子どもたちの指導に当たっていることが分かります。しかし、以前としていじめ・暴力行為を理由によっては仕方がないこと等として思っている児童が4%おり、保護者の方からも「いじめや暴力について議論し、道徳心を培う取組をしてほしい」等のご意見もいただいています。

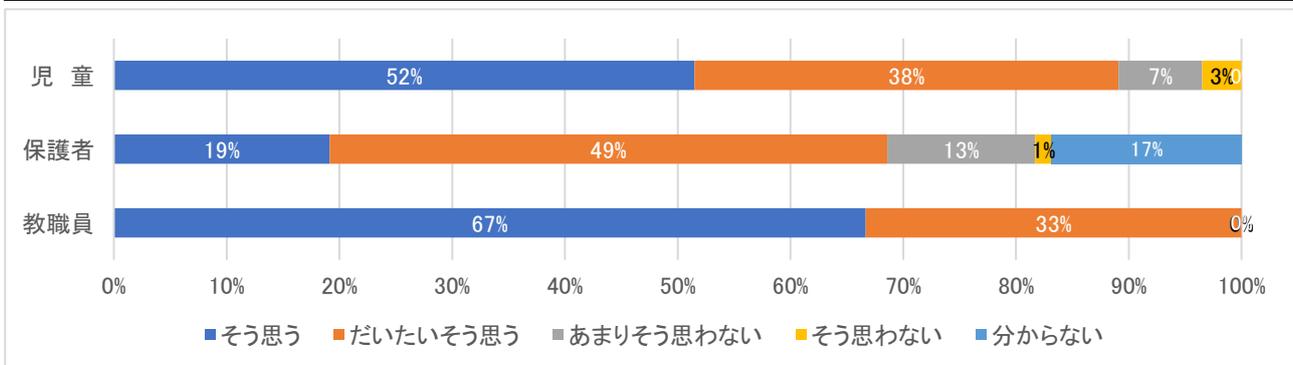
○本校では、人権教育や道徳科を要とした道徳教育を計画的に実施しており、職員の人権意識の向上に向けた研修も毎週行っております。また、本年度は、荒尾市の人権擁護委員の方をお招きし、人権啓発授業を各学年で実施しました。(HP参照)

いじめや暴力行為の防止については、「いじめ見逃しゼロ」という方針のもと、教職員による児童の人間関係の観察、児童や保護者からの訴え、児童のアンケート等で、いじめや暴力と思われる事案を把握した際には、事実関係や背景の解明、謝罪の指導、家庭への連絡等を組織的に速やかに行い、問題行動の早期解決に努めてきたところです。

しかし、今回の学校評価の結果や保護者からのご指摘を受け、今後も引き続き、人権教育・道徳教育の取組を推進するとともに、いじめや暴力行為の未然防止・早期解決に係る取組を徹底していく必要があると感じています。保護者の皆様のご理解・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

## 12 不審者・防災に対する対策

児童	怪しい人が来たときや災害(地震や大雨など)が起きたとき、安全に行動する方法を知っていますか。
保護者	学校は、不審者対策や防災対策などの安全対策をしていると思いますか。
教職員	あなたは、不審者対策や防災対策などの安全対策について、子供たちに指導していますか。



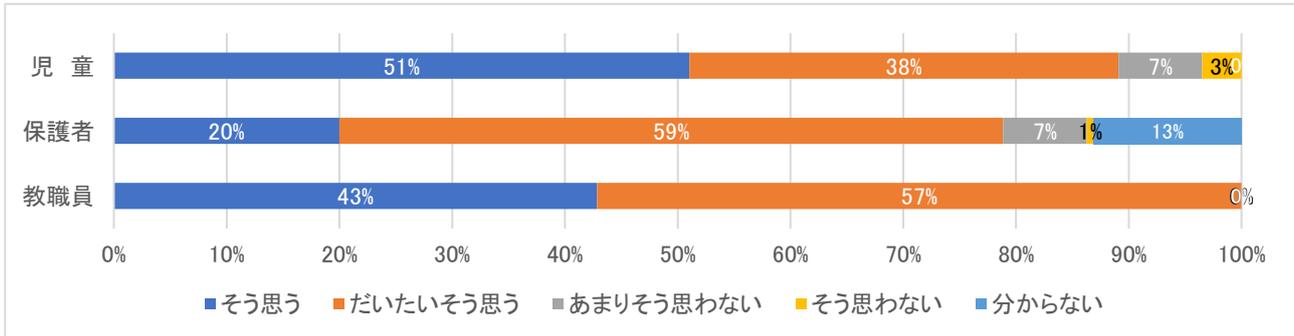
○90%の児童、68%の保護者が肯定的な回答をしており、昨年度に比べ、児童は4ポイントの増加、保護者は逆に9ポイントの減少となりました。保護者については、「分からない」の回答も17%で、他の質問項目と比べて比較的高い数値となっています。

○不審者対策や防災対策等の安全対策については、日常指導、各教科や引き渡し訓練等の行事において、児童に自分の命を守る行動への理解を図っているところです。5年生では、12月にNPO法人防災WESTの方をお招きし、防災教育のワークショップも実施しました。また、令和6年能登半島地震が起きたことを受け、冬休み後集会において、命の尊さや備えることの重要性について校長から話をしたところです。

本県は、平成28年熊本地震、令和2年7月豪雨災害と近年大きな災害を立て続けに経験しており、防災教育の重要度がますます高まっています。災害が起きたときに、児童が正しい判断、適切な行動がとれるように、各取組を確実に実施して参ります。

### 13 コミュニティ・スクールとしての充実度

児童	あなたは、地域の方と一緒にする勉強や行事が楽しいと思いますか。
保護者	学校は、コミュニティ・スクールとして、学校・保護者・地域が一体となって行う活動(行事や授業)に取り組んでいると思いますか。
教職員	あなた(学年部)は、コミュニティ・スクールとして、学校・保護者・地域が一体となって行う活動(行事や授業)に取り組んでいますか。



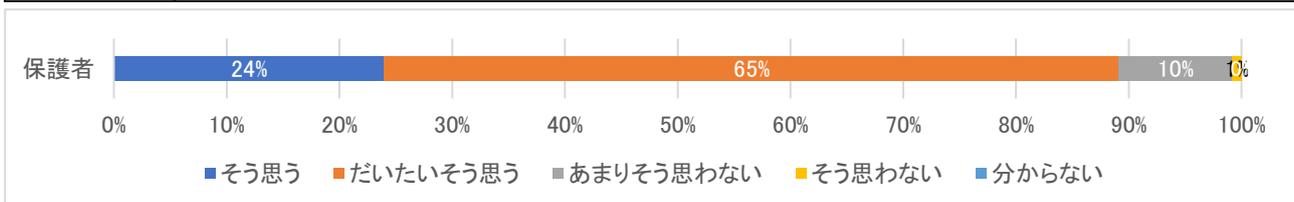
○89%の児童、79%の保護者が肯定的な回答をしており、昨年度に比べ、児童が2ポイント、保護者が1ポイント増加しました。また、教職員については、「そう思う」が43%となり、昨年度に比べ、28ポイント増加しました。

○本校はコミュニティ・スクール11年目となり、地域の方と連携・協働して行う活動が今年度も多く企画されました。8月末には、学校運営協議会主催のふれあい学習会が本年度初めて実施され、丸付けボランティアの方に加え、海陽中、岱志高校、有明高校の生徒の皆様の協力もあり、参加した子どもたちが充実した3日間を過ごすことができました。また、10月には、荒尾地区健康づくりレクリエーション大会が4年ぶりに行われ、多くの地域の方、保護者、本校児童が参加する姿がありました。5年生は、役員ボランティアとしても参加しました。次年度も、各活動の目的を大切にしながら、更に充実した地域学校協働活動となるよう努めて参ります。

※荒尾第一小学校ホームページ「コミュニティ・スクール」のコーナーで、学校運営協議会の活動の様子をお知らせしていますので、ぜひご覧ください。

### 14 総合的な満足度

保護者	総合的に考えて、本校の教育活動に満足されていますか。
-----	----------------------------



○89%の保護者が肯定的な回答をしており、昨年度に比べ2ポイント増加しました。

○本年度の教育目標は「地域に学び、地域に応える児童の育成」、児童に身に付けさせる資質・能力を「主体性、共感力、やり抜く力」の3つとし、自分のよさや強みを活かしながら、地域とともに成長する児童を育てること、児童が安心して自分らしさを発揮しながら学べる学校にすること、いじめを見逃すことをゼロにすることを全職員の共通理解として取り組んで参りました。今回、保護者の皆様に評価していただいたことで、これまでの取組内容の効果や課題を改めて整理することができました。

課題については、本年度の残された期間で少しでも改善できるように取り組んで参ります。また、次年度の取組内容に活かして参ります。